

新城地域自治区予算事業に関する建議書



新城地域協議会は、新城市地域自治区予算事業計画策定要綱に基づき、令和7年度実施に向けた地域自治区予算事業について、新城地域自治区の地域計画を中心に検討を重ねた結果、5つの柱からなる事業計画を策定いたしました。

1つ目はつながりです。価値観が多様化している現代社会において、各町内やご近所付き合いの希薄化が進んでおり、住民同士の交流が必要とされています。2つ目は安全・安心への取り組みです。住宅密集地であるため、行政区が連携した防災体制を構築することが必要とされます。3つ目は高齢化対策です。新城地域自治区は、高齢世帯数が年々増加しているため、日常生活における細やかな支援が必要とされます。4つ目は子育て支援です。子どもの数が減少しているからこそ、市役所、こども園、学校、地域が連携して子育て環境を充実させることが必要とされます。5つ目はにぎわいです。新城地域自治区は市の中心部でありながら商店が減少し、まちなかを歩く人も減少しているため、にぎわい創出へ繋げるための取り組みが必要とされています。そこで、これら5点の課題解決を中心に、地域の将来を見据えた事業計画を決定いたしました。

つきましては、令和7年度新城市地域自治区予算で行う新城地域自治区予算事業計画について、地方自治法第202条の7第1項第2号に基づき、以下のとおり建議します。

● 令和7年度 新城地域自治区予算 予算総額 5,950千円

● 事業計画

- 1 つながりのあるまちなか 820千円
 - (1) 地域集会施設整備費補助事業 820千円
住民による地域活動が活発に行えるように、地域の拠点（公民館等）を改修するための費用について上乗せ補助を行う。
- 2 安全で安心して暮らせるまちなか 3,022千円
 - (1) 自主防災組織防災活動援助事業 184千円
各行政区における防災活動の充実を図るため、防災資機材等の整備を支援する。
 - (2) 防災専門部会運営事業 10千円
地域の自主防災活動の連携及び充実を図るため、「防災を考える会」を開催する。
 - (3) AED普及推進事業、AED設置管理事業 1,278千円
地域住民の安全・安心を図るため、公民館施設やコンビニエンスストア等へAED（自動体外式除細動器）の設置を行う。
 - (4) 交通安全対策事業 94千円
各地区の交通安全意識の高揚を図るため、交通立ち番や防犯パトロール等で使用する帽子や旗等の装備を充実する。
 - (5) 交通安全施設整備事業 1,400千円
歩行者の安全通行の確保とドライバーへ安全運転を促すため、新城税務署周辺の通学路をカラー舗装整備する。
 - (6) 地域安全灯設置費補助事業 36千円
地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図るため、地域安全灯の設置に掛かる費用について上乗せ補助を行う。

(7) 防犯カメラ設置費補助事業

20千円

地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図るため、防犯カメラの設置に掛かる費用について上乗せ補助を行う。

3 高齢者にやさしいまちなか

250千円

(1) 高齢化社会対策事業

250千円

高齢者にやさしいまちなかを目指し、高齢者が日常生活をする上でのちょっとした困りごとを地域住民が解決する仕組みとした高齢者日常生活支援（お手伝いチケット）事業を実施する。

また、高齢者同士の交流を図るため、新城地域自治区全域の高齢者を対象としたサロンを開催する。

4 子育て支援が充実したまちなか

324千円

(1) 子育て茶話会開催事業

80千円

保護者同士の意見交換や交流を図ると同時に、その意見や思いを今後の子育て施策に繋げていくため、子育て世代の保護者を対象に茶話会を開催する。

(2) こども園英語に親しむ機会づくり事業

244千円

英語に親しむ機会づくりのため、新城こども園及び城北こども園の5歳児を対象に英語講師を派遣する。

5 いつもにぎわうまちなか

1,534千円

(1) にぎわい創出事業

1,500千円

高齢者の外出促進とまちなかのにぎわい創出のため、しんしろまちなか映画祭及び関連企画を実施する。

(2) しんしろまちなか散策推進事業

34千円

地域住民によるまち歩きを推進するため、「しんしろまちなか散策を考える会」を開催する。

令和6年10月24日

新城市長 下江洋行 様

新城地域協議会 会長

清水利高